

「施工プロセスの変革」の中核を担う施設「T-Base®」にてIR Day2022を実施

高砂熱学工業株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長COO:小島和人/以下「当社」)は、6月28日、「T-Base®」(所在:埼玉県八潮市)にて、証券アナリスト・機関投資家・マスコミ関連より総勢42名の皆様にご参加いただき、IR Day2022を実施いたしました。



小島社長による開式挨拶



T-Base®内の見学様子

T-Base®は、建設業の特徴である「現場一品生産による施工管理体制」から「プラットフォームを中心とした生産管理」へと施工プロセスの変革を進めるために、企画・生産・物流等の中核を担う施設として2022年5月に開所しました。IR Day2022では、当社が施工プロセスの変革に着手した背景やその取り組み内容・今後の展望に関するご紹介とともに、施設内見学と質疑応答を実施いたしました。

IR Day2022実施後、ご参加者様より「普段、あまり目にすることがない空調設備や機器類、T-Base®の取り組みを実際に見ることができ、当社の取り組み内容に理解が深まった」、「より一層の研究開発・技術力向上を期待する」、「役員とのコミュニケーションにより理解が深まった」等、様々な声をお寄せ頂きました。

今後も、当社では、経営・事業戦略や各種取り組みについて、ステークホルダーの皆様との対話等を通じて、ご理解を深めていただくための取り組みを進めてまいります。

以上

【問い合わせ先】

高砂熱学 コーポレート・コミュニケーション室

中村 TEL:070-3821-1044

Email:isao_nakamura@tte-net.com

平木 TEL:070-2176-7713

Email:terumasa_hiraki@tte-net.com

IR Day 2022

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学



施工プロセスの変革 T-Base®プロジェクト

T-Base®

2022年6月28日

施工プロセスの変革

T-Base®
プロジェクト



国内事業の強靱化

生産年齢人口 減少への対応

2050年までに
生産年齢人口は29%減少

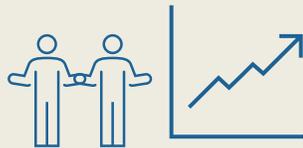
建設業に従事していなかった
新たな働き手の雇用
働きやすい環境を構築し
ダイバーシティを推進



働き方改革と 生産性の向上

2024年4月までに
時間外労働時間を45h/月へ

現場での一品生産を脱却し
オフサイトでの生産へシフト
技術の標準化により
生産性を向上



建設業の 環境貢献へ

住宅・建物関連での
温室効果ガス排出量は
全体の約37%

再生エネルギー活用や
梱包材を削減など
施工段階でのCO₂を削減



コア事業「施工」を 取り巻く環境と課題

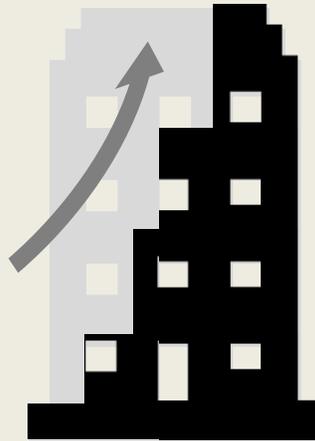
事業環境の変化を今後の成長契機と捉え

本業の根幹をなす「施工」の業務プロセス変革に取り組みます。

施工プロセス変革へのアプローチ

【これまで】 **オンサイト施工 労働集約型**

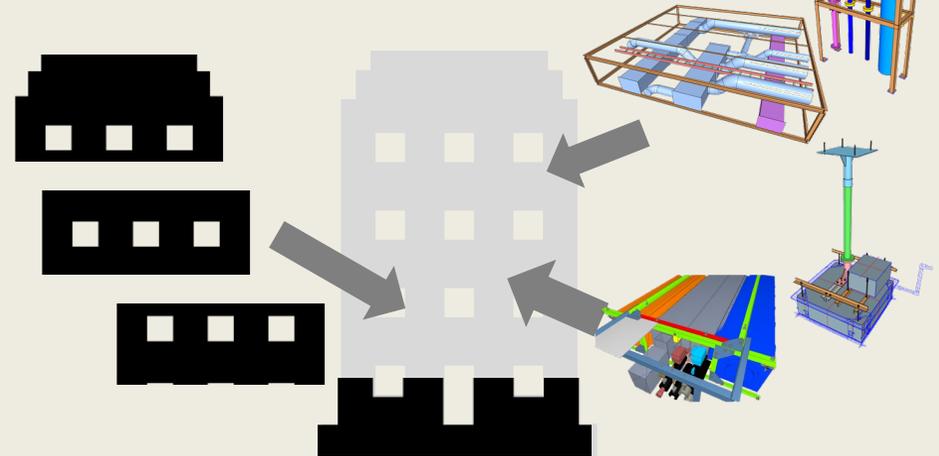
現場一品施工・限定的なユニット化



オンサイトで建物を1から組みあげる

【これから】 **オフサイト生産 資本・知識集約型**

オフサイトで標準化・モジュール化されたユニットを製作し、建設現場内では、そのユニットを繋ぎ合わせる。



オフサイトで生産したユニットを組立てる

施工で培った技術が
標準化・モジュール化された
ユニット（製品）を供給する



生産の標準化

ダイバーシティ&インクルージョン

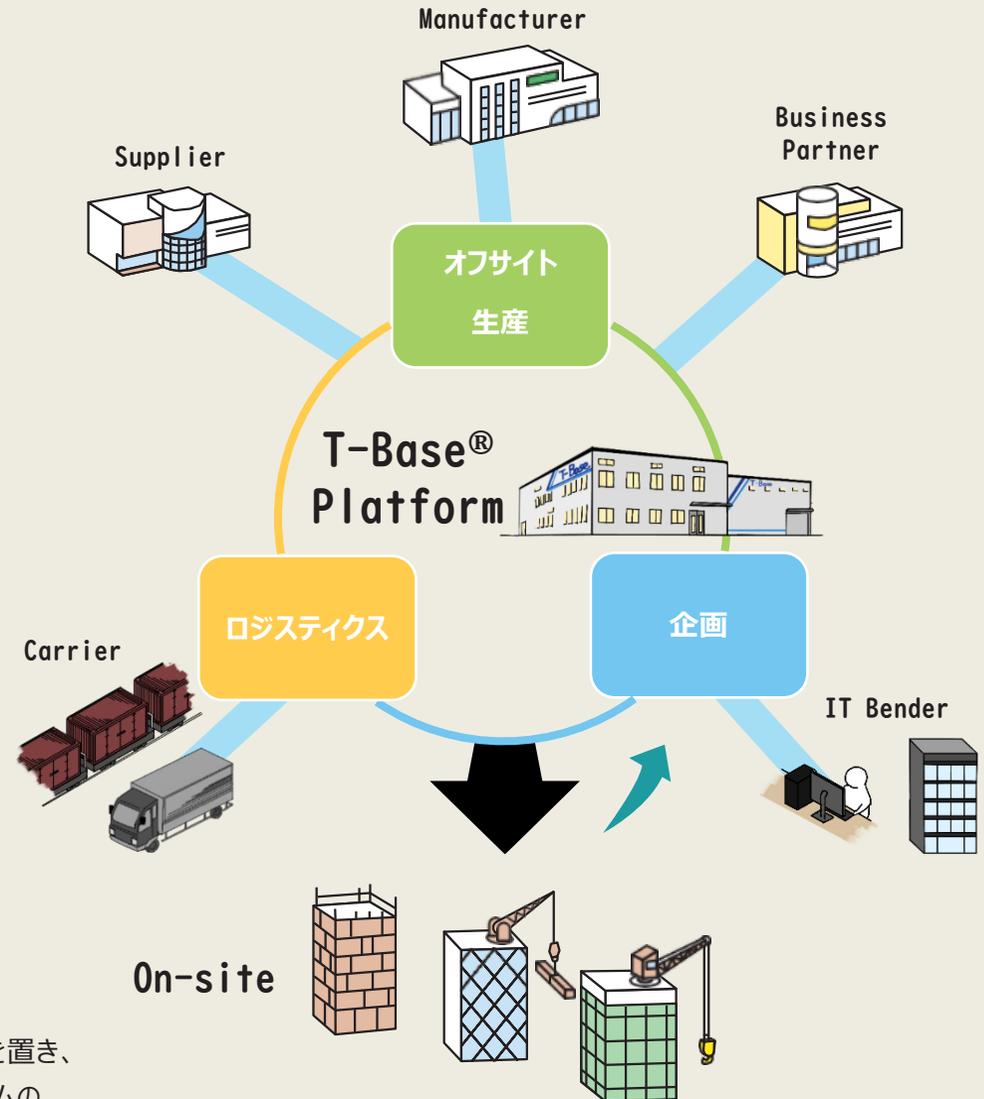
高品質・安定供給

建設業を製造業の形態に移行した**施工プロセスの変革**が必要

施工プロセス変革の基盤となるプラットフォーム T-Base®

現場の施工管理から プラットフォームでの 生産管理へ

【計画】⇒【調達】⇒【施工】といった、
 施工管理業務をプラットフォームでの生産管理により、
フロントローディング（※1）を実施。
 企画・生産・ロジスティクスといった生産管理を、
 T-Base®で行うことで、建設現場内での労務低減と
 高品質施工を両立し、生産性向上を実現します。



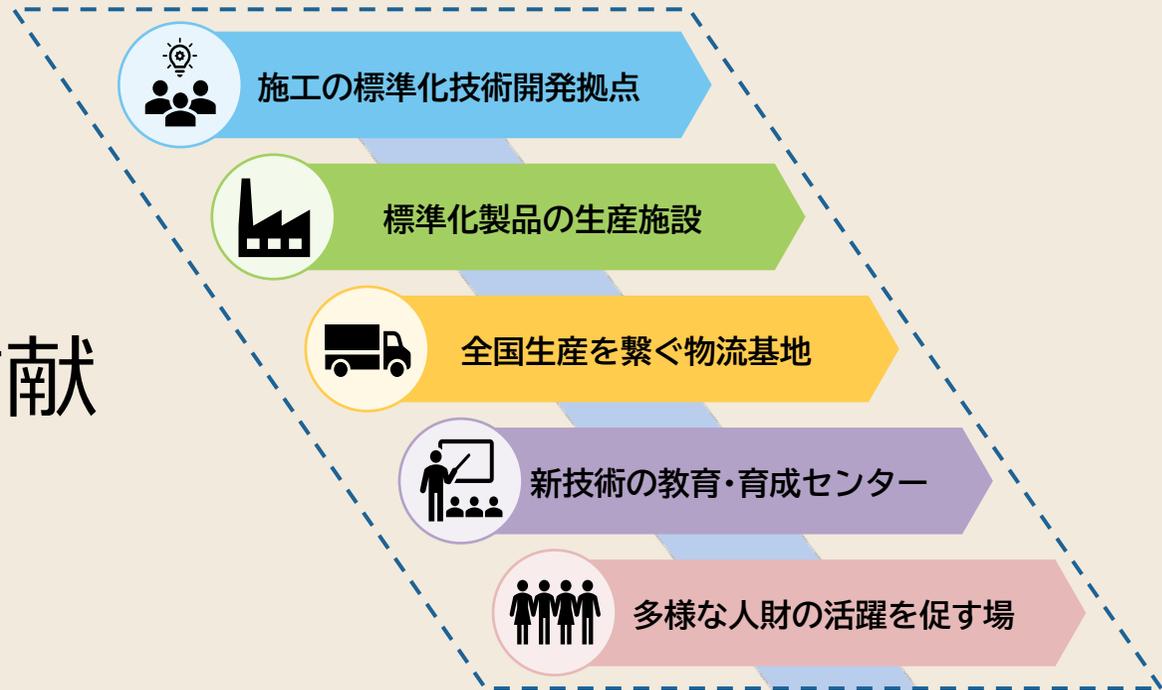
※1：フロントローディングとは
 製品製造・システム開発プロセスにおいて初期段階（フロント）に重点を置き、
 集中的に労力・資源を投入し、負荷を前倒して品質向上やリードタイムの
 短縮を図る手法

T-Base[®] 5つの機能と環境貢献

変革を推進する T-Base[®]の 5つの機能と環境貢献

施工プロセスの変革に向けたプロジェクト「T-Base[®]」は、
 5つの機能を有するプラットフォームです。
 それぞれの機能を有効に組み合わせるとともに、
 標準化×オフサイト生産による環境貢献活動を通じ、
 サステナビリティの実現に向け、新たな価値を生み出して行きます。

T-Base[®]の5つの機能



**標準化×オフサイト生産
 による環境貢献**



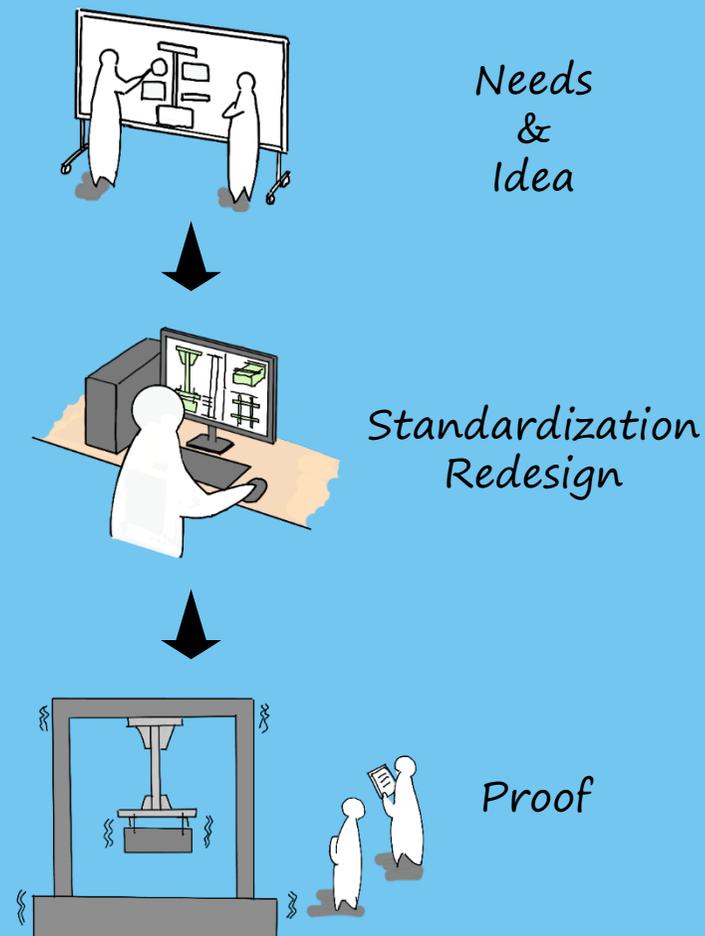
サステナビリティの実現へ

T-Base®の5つの機能

☀️ 施工の標準化技術開発拠点

1 培った施工技術を まとめて標準化

当社が、これまでに培ってきた知見と施工技術を
T-Base®において、標準化された技術へとデザインします。
特許や法令の確認から、構造解析・実証試験などを経て
全国の現場で活用できる、標準化されたモデル「ユニット」として展開。
複雑さを有する施工の標準化と効率化につなげていきます。



T-Base®の5つの機能

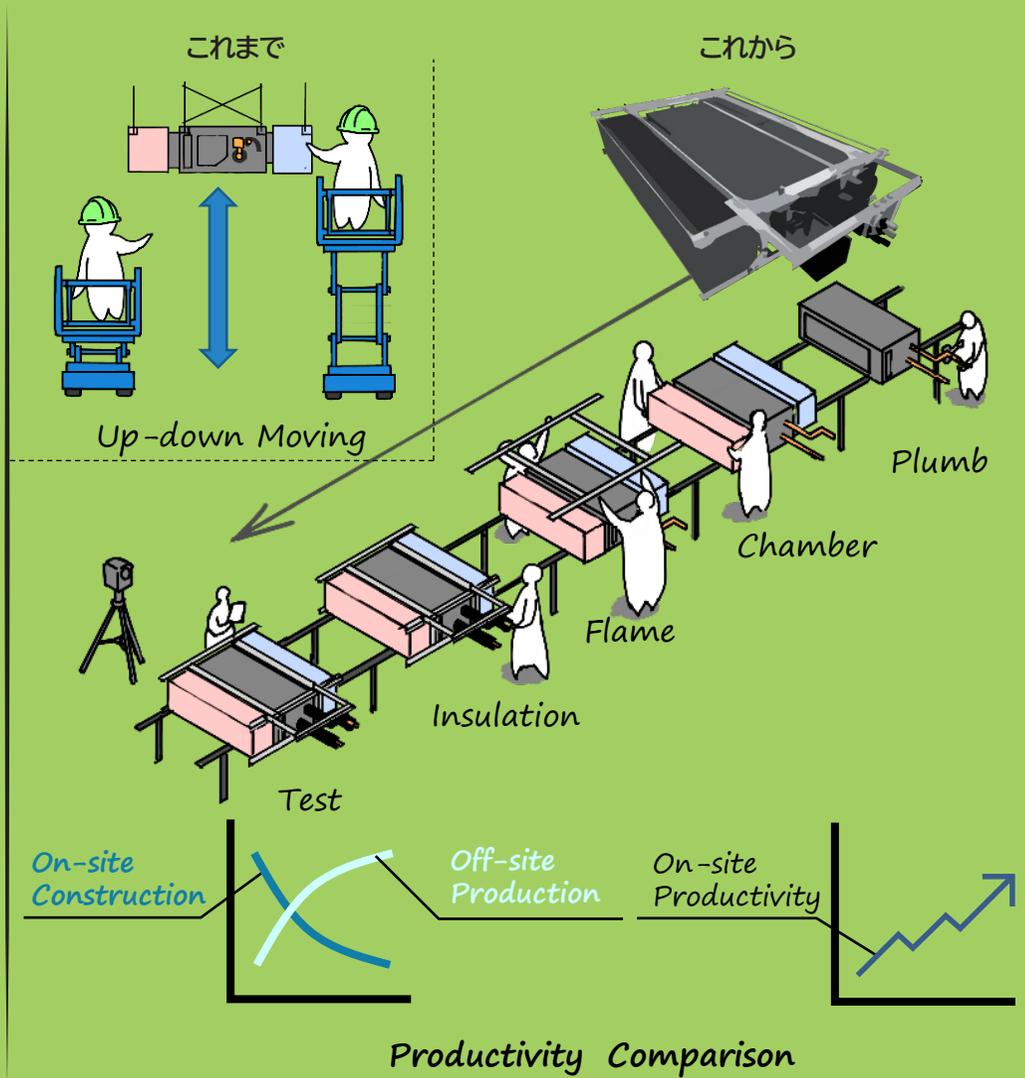
 標準化製品の生産施設

オンサイト施工 から オフサイト生産へ

施工方法の標準化と、繰り返し作業を行う部分のユニット化を通じて、
オフサイトでの生産体制を確立します。

T-Base®では、フロントローディングにより、
建設現場内の時間軸とは独立した生産が可能となります。

最適な生産環境とラインでの連続作業により、
高品質な製品の供給と生産性向上を両立します。



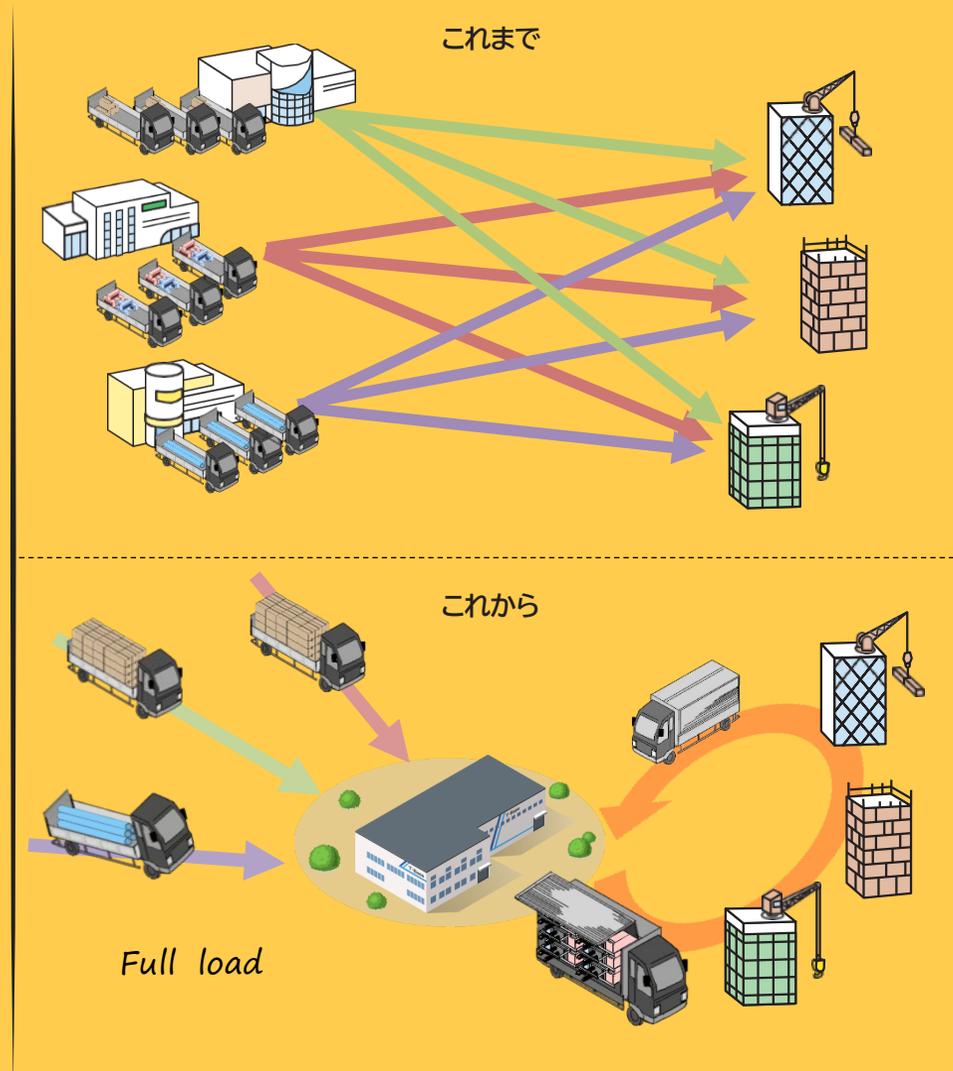
T-Base[®]の5つの機能

 全国生産を繋ぐ物流基地

ロジスティクスによる 輸送効率化

これまでの資機材搬入・受け入れに関する煩雑さを改善するため、T-Base[®]では、ユニットの標準化と、柔軟な受け入れ体制により、資材を満載状態で受け入れします。

現場への供給は、製品のユニット化や、巡回便の運用により総合的な輸送効率を向上させていきます。



T-Base®の5つの機能

 全国生産を繋ぐ物流基地

ヒトの移動から モノの移動へ

建設現場の繁忙度は、全国均一ではありません。

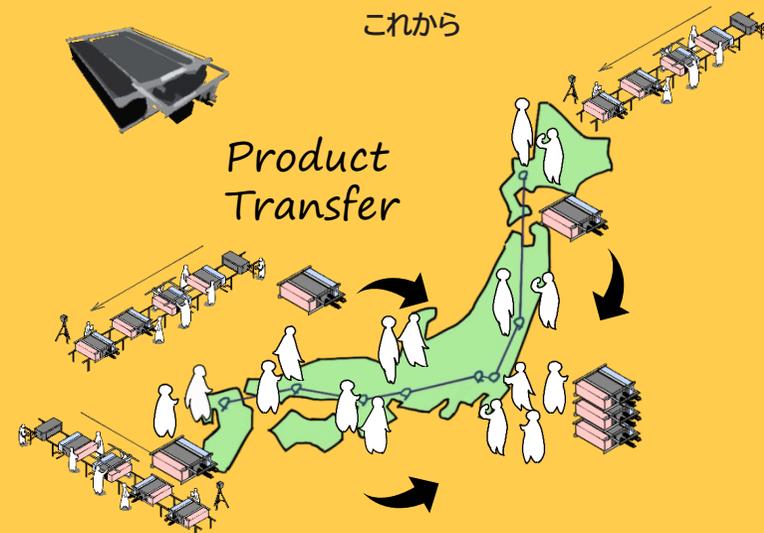
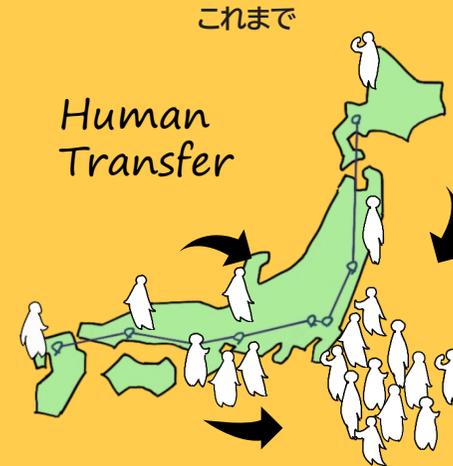
労働集約型の建設業では、これまで、繁忙度の高さに対して、

ヒトを集めることで対応してきました。

これからは、建設現場外のオフサイトでユニットを生産し、

T-Base®を介したロジスティクスの仕組みで、各地へ供給します。

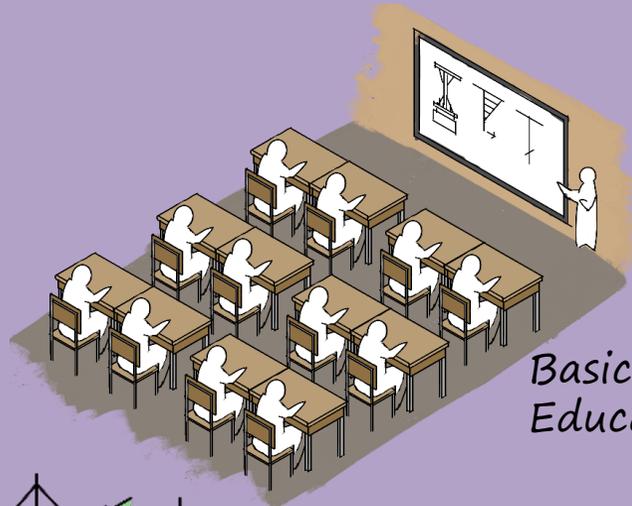
これにより、地域毎の繁忙度を平準化し全国生産へシフトしていきます。



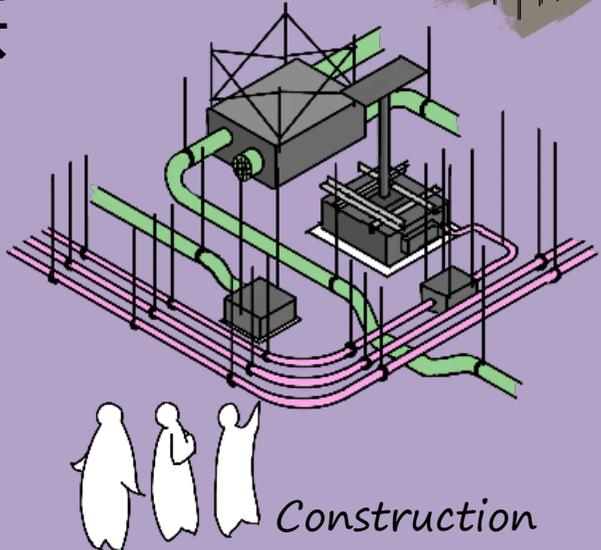
T-Base®の5つの機能

 新技術の教育・育成センター

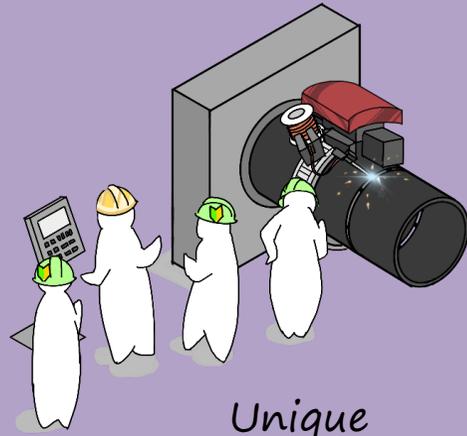
技術を学び
生かして活躍
人を育む環境を提供



Basic Education



Construction



Unique Technology

優れた施工技術や製品が開発されても、
使える人がいなければ機能しません。
T-Base®では、当社社員に加え、グループ各社、
サプライヤーならびに協力会社の技能者に向けて、
実践的なスキルトレーニングを行う環境を提供します。

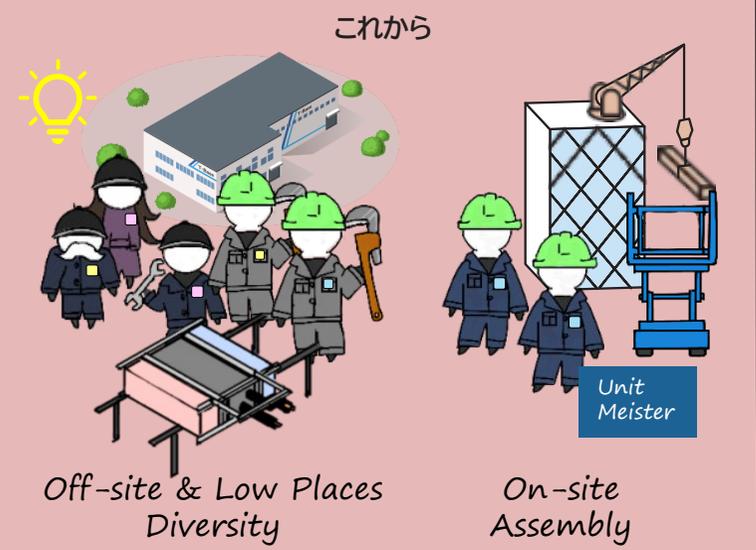
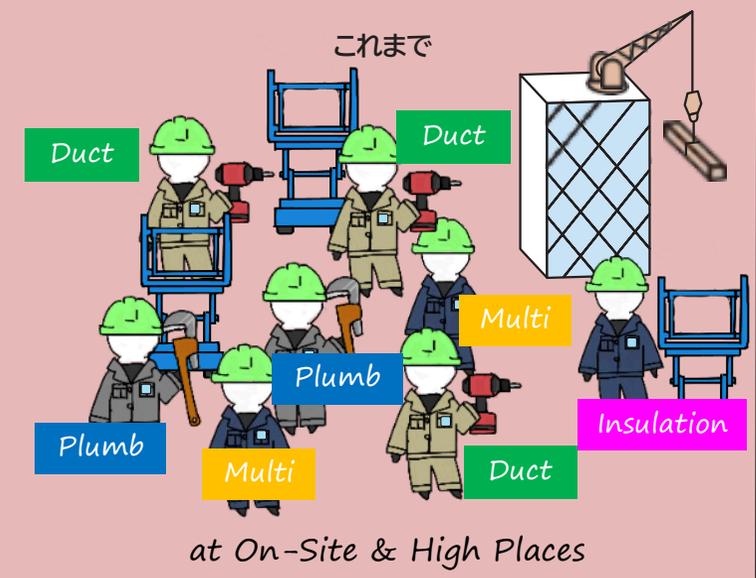
T-Base®の5つの機能

多様な人財の活躍を促す場

多様な人財の活用 オフサイトで実現する ダイバーシティ & インクルージョン

T-Base®では、生産に携わる人の事情や特性に合わせた働き方が可能になります。例えば就業時間や、体力的な制限、年齢や性別による作業配分・業務配置を考慮し、これまでに建設業に従事していなかった様々な人財が活躍できる環境を提供します。

多様な人財の活躍を促し、生産年齢人口減少の問題を解決し建設業界の活性化へ貢献します。



環境貢献への取り組み

調達、生産、供給 プロセス全てで 環境貢献

これまでも建設現場では、梱包材削減等による環境貢献に取り組んできました。

T-Base®の生産活動では、プラットフォームという特性を最大限に活用し、

環境貢献・脱炭素への取り組みを推進していきます。

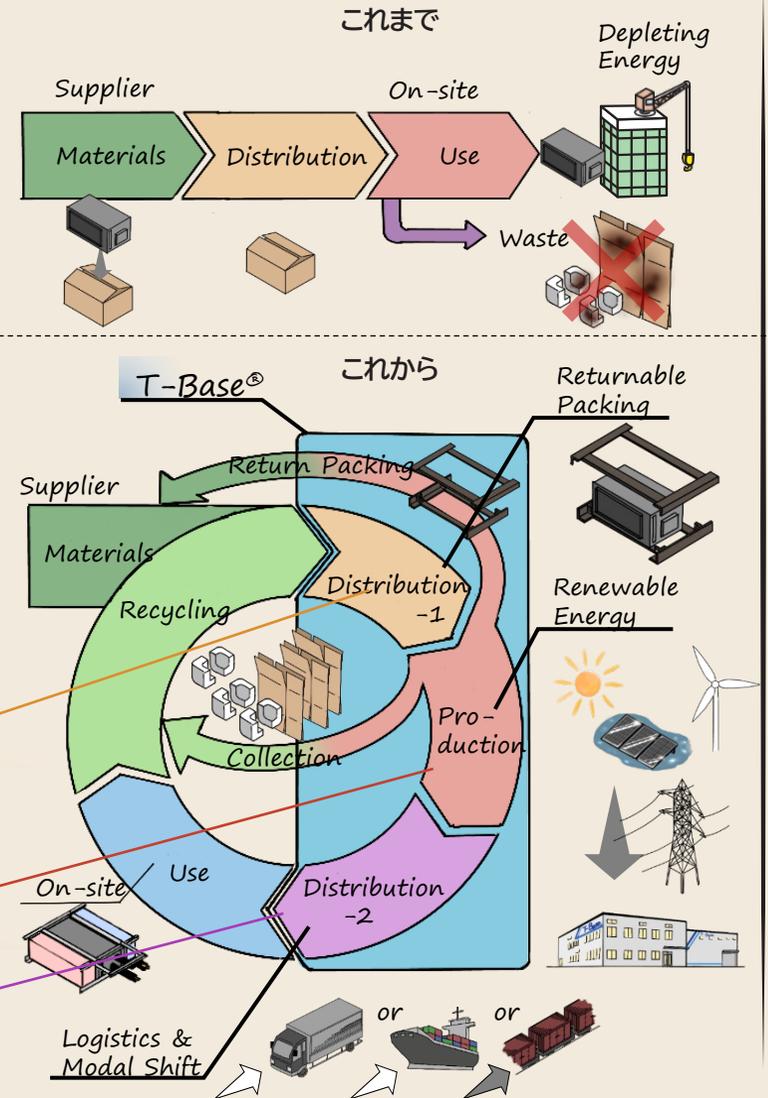
メーカー、サプライヤーとの協業による梱包材などの廃材削減

リターナブル梱包を始め、メーカーから供給される資材の梱包レス、さらに従来廃棄していたプラスチック（カラーコーン等）の再利用スキームを構築します。

使用電力は、再生可能エネルギーを利用

現場への輸送ロジスティクスと梱包レス

貨物・船舶・車両を組み合わせたCO₂排出量を低減した輸送方法を採用します。また、ユニットの供給により、現場への梱包材持ち込みを削減します。





 高砂熱学